

## ◆—令和3年度—

### 第1回中・四国旅客船労働協約改定集団交渉

**船員職業の魅力アップのため、真摯な議論を通じ、期限内決着を！**

3月1日14時より、ワークピア広島において第1回中・四国旅客船労働協約改定集団交渉を開催した。交渉は組合側幹事の司会進行で始まり、交渉委員会の名称を「令和3年度 中・四国旅客船労働協約改定集団交渉」と確認した後、交渉する7社の確認を行った。

続いて労使双方の代表あいさつと交渉委員の紹介、運営方法の確認が行われた後、組合から要求の趣旨説明を行い、会社側から会社申し入れの説明が行われた。その後、要求内容に沿って逐条的に論議が行われ、15時に第1回交渉を終了した。第2回目の交渉は3月10日に開催された。

#### 組合側あいさつ

##### 除補修交渉委員長（中・四国地方支部長）

はじめに56年間も続く歴史ある中四国旅客船集団交渉が今年度も開催されることに改めて感謝申し上げる。

新型コロナウイルス感染症が全世界に猛威を振るい、国が緊急事態宣言を発令する事態となり、国民は感染を防ぐために見えない恐怖と闘うという未だかつてない状況下、ワクチン開発が進み、やっと終息の兆しが見えてきた。このような状況においても、消費者物価指数の上昇に加え、少子高齢化の進行から、労働力不足が顕在化するなか、将来を担う優秀な船員を確保・育成していくためには、特殊な労働環境で働く船員の労働条件・労働環境の改善が必要不可欠であり、今次労働協約改定交渉においては、業界の置かれている状況を十分に勘案しつつ、将来を見据え、組合員の雇用と生活の安定、魅力ある労働環境構築のため最低限必要な要求を策定した。

本年度はコロナ禍での労働協約改定交渉となるが、これまで築き上げてきた労使の信頼関係に基づき、期限内円満解決に向けた真摯な協議をお願いしたい。

「海員だより」